

第2節 一般会計

1. 総括

①歳入決算額

(単位:千円)

区 分	令和元年度		令和2年度		増 減	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率%
1 村 税	679,484	14.3%	671,125	12.1%	△ 8,359	△ 1.2
2 地 方 譲 与 税	81,166	1.7%	86,268	1.6%	5,102	6.3
3 利 子 割 交 付 金	340	0.0%	365	0.0%	25	7.4
4 配 当 割 交 付 金	1,755	0.0%	1,645	0.0%	△ 110	△ 6.3
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	954	0.0%	1,826	0.0%	872	91.4
6 法 人 事 業 税 交 付 金	0	0.0%	3,965	0.1%	3,965	皆増
7 地 方 消 費 税 交 付 金	98,597	2.1%	121,882	2.2%	23,285	23.6
8 環 境 性 能 割 交 付 金	2,695	0.1%	4,876	0.1%	2,181	80.9
9 自 動 車 取 得 税 交 付 金	10,149	0.2%	0	0.0%	△ 10,149	△ 100.0
10 地 方 特 例 交 付 金	17,080	0.4%	4,512	0.1%	△ 12,568	△ 73.6
11 地 方 交 付 税	2,318,439	48.7%	2,410,919	43.5%	92,480	4.0
12 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	781	0.0%	995	0.0%	214	27.4
13 分 担 金 ・ 負 担 金	17,335	0.4%	11,983	0.2%	△ 5,352	△ 30.9
14 使 用 料 ・ 手 数 料	99,755	2.1%	81,778	1.5%	△ 17,977	△ 18.0
15 国 庫 支 出 金	265,125	5.6%	1,049,798	18.9%	784,673	296.0
16 県 支 出 金	262,652	5.5%	276,390	5.0%	13,738	5.2
17 財 産 収 入	20,141	0.4%	4,101	0.1%	△ 16,040	△ 79.6
18 寄 附 金	16,517	0.3%	24,993	0.5%	8,476	51.3
19 繰 入 金	37,019	0.8%	46,112	0.8%	9,093	24.6
20 繰 越 金	151,667	3.2%	152,711	2.7%	1,044	0.7
21 諸 収 入	149,719	3.1%	157,480	2.8%	7,761	5.2
22 村 債	529,700	11.1%	434,400	7.8%	△ 95,300	△ 18.0
合 計	4,761,070	100.0%	5,548,124	100.0%	787,054	16.5

②歳出目的別決算額

(単位:千円)

区 分	令和元年度		令和2年度		増 減	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率%
1 議 会 費	54,606	1.2%	56,524	1.1%	1,918	3.5
2 総 務 費	558,129	12.1%	1,158,277	21.7%	600,148	107.5
3 民 生 費	888,409	19.3%	906,216	17.0%	17,807	2.0
4 衛 生 費	305,491	6.6%	336,853	6.3%	31,362	10.3
5 農 林 水 産 業 費	503,928	10.9%	395,148	7.4%	△ 108,780	△ 21.6
6 商 工 労 働 費	366,578	8.0%	389,431	7.3%	22,853	6.2
7 土 木 費	754,892	16.4%	865,360	16.2%	110,468	14.6
8 消 防 費	236,059	5.1%	262,578	4.9%	26,519	11.2
9 教 育 費	396,411	8.6%	387,159	7.3%	△ 9,252	△ 2.3
10 災 害 復 旧 費	1,122	0.0%	6,403	0.1%	5,281	470.7
11 公 債 費	542,734	11.8%	570,937	10.7%	28,203	5.2
12 諸 支 出 金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0
合 計	4,608,359	100.0%	5,334,886	100.0%	726,527	15.8

<地方財政状況調査との調整>

総務省の地方財政状況調査数値には、次の調整を行って報告しています。

* 地方財政状況調査＝通称・決算統計

1) 歳入

(単位:千円)

区 分	調整額	区 分	調整額	区 分	調整額
13 分担金・負担金	△ 3,007	1 議会費	△ 1,785	1 人件費	9,616
14 使用料・手数料	5,963	2 総務費	26,057	2 物件費	△ 624
15 国庫支出金	△ 7,150	3 民生費	△ 2,201	5 補助費等	△ 20,000
16 県支出金	△ 12,828	4 衛生費	△ 14,018	6 公債費	20,000
21 諸 収 入	△ 3,602	5 農林水産業費	59,013	10 繰出金	△ 9,616
22 村 債	20,000	6 商工労働費	△ 19,959	合 計	△ 624
		7 土木費	△ 67,731		
		11 公債費	20,000		
合 計	△ 624	合 計	△ 624		

(注)各区分の合計欄の増減額の内訳は次のとおりです。

○歳入・後期高齢者保健事業受託収入 △624千円 ○歳出・特定健康診査委託料 △624千円

③歳入決算額(地方財政状況調査報告数値)

(単位:千円)

区 分	令和元年度		令和2年度		増 減	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	増減率%
1 村 税	679,484	14.3%	671,125	12.1%	△ 8,359	△ 1.2
2 地方譲与税	81,166	1.7%	86,268	1.6%	5,102	6.3
3 利子割交付金	340	0.0%	365	0.0%	25	7.4
4 配当割交付金	1,755	0.0%	1,645	0.0%	△ 110	△ 6.3
5 株式等譲渡所得割交付金	954	0.0%	1,826	0.0%	872	91.4
6 地方消費税交付金	98,597	2.1%	121,882	2.2%	23,285	23.6
7 自動車取得税交付金	10,149	0.2%	0	0.0%	△ 10,149	皆減
8 環境性能割交付金	2,695	0.1%	4,876	0.1%	2,181	80.9
9 法人事業税交付金	0	0.0%	3,965	0.1%	3,965	皆増
10 地方特例交付金	17,080	0.4%	4,512	0.1%	△ 12,568	△ 73.6
11 地方交付税	2,318,439	48.7%	2,410,919	43.5%	92,480	4.0
12 交通安全対策特別交付金	781	0.0%	995	0.0%	214	27.4
13 分担金・負担金	9,608	0.2%	8,976	0.2%	△ 632	△ 6.6
14 使用料・手数料	111,796	2.3%	87,741	1.6%	△ 24,055	△ 21.5
15 国庫支出金	263,921	5.5%	1,042,648	18.8%	778,727	295.1
16 県支出金	243,969	5.1%	263,562	4.8%	19,593	8.0
17 財産収入	20,141	0.4%	4,101	0.1%	△ 16,040	△ 79.6
18 寄 附 金	16,517	0.4%	24,993	0.5%	8,476	51.3
19 繰 入 金	13,119	0.3%	46,112	0.8%	32,993	251.5
20 繰 越 金	175,567	3.7%	152,711	2.8%	△ 22,856	△ 13.0
21 諸 収 入	144,432	3.0%	153,878	2.8%	9,446	6.5
22 村 債	549,700	11.6%	454,400	8.2%	△ 95,300	△ 17.3
合 計	4,760,210	100.0%	5,547,500	100.0%	787,290	16.5

④歳出目的別決算額の財源内訳(地方財政状況調査報告数値)

(単位:千円)

区 分	決 算 額			財 源 内 訳					増 減	
	令和 元年度	令和 2年度	構成比	国県 支出金	使用料 手数料 負担金 寄附金	地方債	その他	一般財源	増減額	増減率 %
1 議 会 費	53,083	54,739	1.0%	0	0	0	0	54,739	1,656	3.1
2 総 務 費	584,411	1,184,334	22.2%	576,385	28,056	16,000	22,469	541,424	599,923	102.7
3 民 生 費	886,053	904,015	16.9%	216,254	12,778	0	5,090	669,893	17,962	2.0
4 衛 生 費	290,127	322,835	6.1%	10,314	8,566	50,000	857	253,098	32,708	11.3
5 農 林 水 産 業 費	496,915	454,161	8.5%	130,862	2,566	92,600	2,203	225,930	△ 42,754	△ 8.6
6 商 工 労 働 費	347,199	369,472	6.9%	394	36,488	20,000	89,903	222,687	22,273	6.4
7 土 木 費	753,385	797,629	15.0%	162,573	10,419	124,300	7,522	492,815	44,244	5.9
8 消 防 費	236,059	262,578	4.9%	5,486	0	25,200	315	231,577	26,519	11.2
9 教 育 費	396,411	387,159	7.3%	22,310	1,265	23,100	2,374	338,110	△ 9,252	△ 2.3
10 災 害 復 旧 費	1,122	6,403	0.1%	3,155	971	0	0	2,277	5,281	470.7
11 公 債 費	562,734	590,937	11.1%	0	18,221	0	20,000	552,716	28,203	5.0
12 諸 支 出 金	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0.0
合 計	4,607,499	5,334,262	100.0%	1,127,733	119,330	351,200	150,733	3,585,266	726,763	15.8
歳入振替額				178,477	2,380	103,200	176,069	△ 460,126		
歳計剰余金又は 翌年度歳入繰上 充用金	152,711	213,238					30,000	183,238		
歳入決算額	4,760,210	5,547,500		1,306,210	121,710	454,400	356,802	3,308,378		

⑤歳出性質別決算額の財源内訳(地方財政状況調査報告数値)

(単位:千円)

区 分	決 算 額			財 源 内 訳					増 減	
	令和 元年度	令和 2年度	構成比	国県 支出金	使用料 手数料 負担金 寄附金	地方債	その他	一般財源	増減額	増減率 %
1 人 件 費	734,792	837,730	15.7%	23,789	10,356	0	1,024	802,561	102,938	14.0
2 物 件 費	971,994	978,778	18.4%	61,411	57,534	48,700	26,562	784,571	6,784	0.7
3 維 持 補 修 費	169,201	225,170	4.2%	43,510	3,623	0	108	177,929	55,969	33.1
4 扶 助 費	276,060	267,445	5.0%	165,762	0	0	5,018	96,665	△ 8,615	△ 3.1
5 補 助 費 等	401,143	1,316,118	24.7%	652,756	3,832	0	726	658,804	914,975	228.1
6 公 債 費	562,734	590,937	11.1%	0	18,221	0	20,000	552,716	28,203	5.0
7 積 立 金	93,257	107,306	2.0%	0	24,693	16,000	375	66,238	14,049	15.1
8 投 資 及 び 出 資 金	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0.0
9 貸 付 金	107,000	107,000	2.0%	0	0	20,000	87,000	0	0	0.0
10 繰 出 金	699,013	346,023	6.5%	41,876	0	0	27	304,120	△ 352,990	△ 50.5
11 普通建設事業費	591,183	551,352	10.3%	135,474	100	266,500	9,893	139,385	△ 39,831	△ 6.7
うち補助事業費	171,199	216,995	4.1%	128,239	0	83,600	1,910	3,246	45,796	26.8
うち単独事業費	264,985	236,896	4.4%	7,235	100	97,900	7,983	123,678	△ 28,089	△ 10.6
うち県営事業負担金	154,999	97,461	1.8%	0	0	85,000	0	12,461	△ 57,538	△ 37.1
12 災害復旧事業費	1,122	6,403	0.1%	3,155	971	0	0	2,277	5,281	470.7
合 計	4,607,499	5,334,262	100.0%	1,127,733	119,330	351,200	150,733	3,585,266	726,763	15.8
歳入振替額	0	0		178,477	2,380	103,200	176,069	△ 460,126		
歳計剰余金又は 翌年度歳入繰上 充用金	152,711	213,238					30,000	183,238		
歳入決算額	4,760,210	5,547,500		1,306,210	121,710	454,400	356,802	3,308,378		

2. 歳入の状況(地方財政状況調査報告数値で説明)

(1) 概況

令和2年度の歳入決算額の内訳をみると、地方交付税が24億1,091万9千円で全体の43.5%を占めています。村税などの自主財源は11億4,963万7千円で、前年度より2,102万7千円(△1.8%)減となりました。これは、コロナの影響によってゆ〜む使用料収入が2,161万6千円の減になったほか、財産収入では除雪車売却収入などがなかったことが主な要因です。

なお、繰入金の増加は、健康増進施設建設工事財源として、商工観光振興対策基金から3,000万円の取崩しを行いました。

自主財源等の状況(地方財政状況調査報告数値)

(単位:千円)

区 分		令和元年度	令和2年度	増減額	増減率%	構成比
自 主 財 源	村 税	679,484	671,125	△ 8,359	△ 1.2	12.1%
	分 担 金・負 担 金	9,608	8,976	△ 632	△ 6.6	0.2%
	使 用 料・手 数 料	111,796	87,741	△ 24,055	△ 21.5	1.6%
	財 産 収 入	20,141	4,101	△ 16,040	△ 79.6	0.1%
	寄 附 金	16,517	24,993	8,476	51.3	0.5%
	繰 入 金	13,119	46,112	32,993	251.5	0.8%
	繰 越 金	175,567	152,711	△ 22,856	△ 13.0	2.8%
	諸 収 入	144,432	153,878	9,446	6.5	2.8%
	合 計	1,170,664	1,149,637	△ 21,027	△ 1.8	20.7%
依 存 財 源	地 方 交 付 税	2,318,439	2,410,919	92,480	4.0	43.5%
	国 庫 支 出 金	263,921	1,042,648	778,727	295.1	18.8%
	県 支 出 金	243,969	263,562	19,593	8.0	4.8%
	地 方 譲 与 税 等	213,517	226,334	12,817	6.0	4.1%
	村 債	549,700	454,400	△ 95,300	△ 17.3	8.2%
	合 計	3,589,546	4,397,863	808,317	22.5	79.3%

一般財源の推移(地方財政状況調査5表より)

(単位:千円)

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度増減	
							増減額	増減率%
村 税	686,015	684,809	698,185	694,198	679,484	671,125	△ 8,359	△ 1.2
地 方 譲 与 税	77,732	76,800	76,499	77,071	81,166	86,268	5,102	6.3
地方消費税交付金	110,905	96,536	96,295	102,278	98,597	121,882	23,285	23.6
自動車取得税交付金	13,230	13,493	21,055	20,263	10,149	0	△ 10,149	△ 100.0
地 方 交 付 税	2,480,664	2,352,731	2,242,835	2,236,041	2,318,439	2,410,919	92,480	4.0
繰 入 金	3,634	2,996	101,730	101,551	3,834	4,251	417	10.9
繰 越 金	174,134	133,443	106,295	168,768	154,852	143,132	△ 11,720	△ 7.6
減 収 補 て ん 債	0	0	0	0	0	6,700	6,700	皆増
臨時財政対策債	174,900	129,100	128,700	126,600	95,400	96,500	1,100	1.2
そ の 他	39,411	33,848	44,350	51,426	70,952	227,727	156,775	221.0
合 計	3,760,625	3,523,756	3,515,944	3,578,196	3,512,873	3,768,504	255,631	7.3

地方交付税の推移

(単位:千円)

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度増減	
							増減額	増減率%
基準財政需要額	3,023,915	2,911,389	2,825,892	2,800,534	2,871,838	2,996,173	124,335	4.3
基準財政収入額	678,898	692,552	677,016	701,928	698,936	722,585	23,649	3.4
普 通 交 付 税	2,347,646	2,216,442	2,073,125	2,098,606	2,183,707	2,272,057	88,350	4.0
特 別 交 付 税	133,018	136,289	169,710	137,435	134,732	138,862	4,130	3.1

村税の推移

(単位:千円)

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度増減	
							増減額	増減率%
村 民 税	195,464	196,435	215,854	217,415	203,437	199,859	△ 3,578	△ 1.8
固 定 資 産 税	415,863	413,327	408,951	404,090	403,139	405,940	2,801	0.7
入 湯 税	19,644	19,651	18,684	18,548	18,459	11,654	△ 6,805	△ 36.9
そ の 他 の 税	55,044	55,395	54,696	54,145	54,449	53,672	△ 777	△ 1.4
合 計	686,015	684,808	698,185	694,198	679,484	671,125	△ 8,359	△ 1.2

(2) 歳入決算額に現れた特徴点(対前年度10%以上の増減があったもの)

(単位:千円)

区 分	対前年度増減額	増減率	増減の主な原因
各 種 交 付 金	20,069	17.5	地方消費税交付金23,285増、自動車取得税交付金▲10,149(皆減)、環境性能割交付金2,181増、法人事業税交付金3,965(皆増)
地方特例交付金等	△ 12,568	△ 73.6	子ども・子育て支援臨時交付金▲13,509(皆減)、自動車税減収補填▲1,028
使用料・手数料	△ 24,055	△ 21.5	保育料▲6,028、温泉保養施設ゆ〜む使用料収入▲15,844
国 庫 支 出 金	778,727	295.1	特別定額給付金給付事業国庫補助金540,100(皆増)、新型コロナウイルス感染症地方創生臨時交付金164,836(皆増)
繰 入 金	32,993	251.5	健康増進施設建設財源として、商工振興対策基金から30,000の繰入
繰 越 金	△ 22,856	△ 13.0	繰越金の減少
地 方 債	△ 95,300	△ 17.3	県営圃場整備事業に係る起債▲48,400、消雪パイプ更新事業▲39,400、除雪機械更新▲35,500、橋梁更新20,400

3. 歳出の状況（地方財政状況調査報告数値で説明）

（1）目的別決算の状況

目的別決算額では、総務費が11億8,433万4千円で全体の22.2%を占め第1位、民生費が第2位で16.9%、そして第3位が土木費で15.0%、以下、公債費、農林水産業費、教育費、商工労働費、衛生費、消防費、議会費、災害復旧費の順となっています。

なお、前年度比で大幅な増減のある費目は次のとおりです。

総務費は、特別定額給付金事業5億4,562万円を実施したことによって前年比102.7%の大幅な増加となりました。

衛生費は、関川診療所への新型コロナウイルス感染症拡大防止対策事業800万9千円（皆増）、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業606万円（皆増）、村上市へのごみ処理委託料734万円などそれぞれ増加したことなどによって、前年比11.3%の増加となりました。

消防費は、中東及び平内新集落に耐震性貯水槽を整備したことによって11.2%増（2,651万9千円増）となりました。

なお、災害復旧費は、大雨による農地災害発生によって470.7%増（528万1千円増）となりました。

（2）性質別決算の状況

性質別決算額では、補助費等が全体の24.7%を占め第1位、第2位が物件費で18.4%、第3位が人件費で15.7%の順となっています。

補助費等は、前年比9億1,497万5千円増の13億1,611万8千円となりました。増加した要因は、特別定額給付金5億4,020万円の支出があったほか、簡易水道事業と下水道事業が法適用化の移行に伴い、繰出金から補助費等へ性質も移行し、前年比3億4,337万円増加したためです。

人件費は、前年比1億293万8千円増の8億3,773万円となりました。これは、会計年度任用職員制度への移行に伴い、臨時雇用賃金（物件費計上）から人件費での計上になったことによるものです。

なお、繰出金は前年比3億5,299万円減の3億4,602万3千円となりましたが、簡易水道事業と下水道事業の法適用化に伴い、繰出金から補助費等へ移行したためです。

性質別経費の状況

（単位：千円）

区分	令和元年度	令和2年度	増減額	増減率%	構成比
義務的経費	1,573,586	1,696,112	122,526	7.8	31.8%
うち人件費	734,792	837,730	102,938	14.0	15.7%
うち扶助費	276,060	267,445	△ 8,615	△ 3.1	5.0%
うち公債費	562,734	590,937	28,203	5.0	11.1%
投資的経費	592,305	557,755	△ 34,550	△ 5.8	10.5%
うち普通建設事業費	591,183	551,352	△ 39,831	△ 6.7	10.3%
うち補助事業費	171,199	216,995	45,796	26.8	4.1%
うち単独事業費	264,985	236,896	△ 28,089	△ 10.6	4.4%
うち県営事業ほか負担金	154,999	97,461	△ 57,538	△ 37.1	1.8%
うち災害復旧事業費	1,122	6,403	5,281	470.7	0.1%
その他の経費	2,441,608	3,080,395	638,787	26.2	57.7%
うち物件費	971,994	978,778	6,784	0.7	18.3%
うち補助費等	401,143	1,316,118	914,975	228.1	24.7%
うち積立金	93,257	107,306	14,049	15.1	2.0%
うち貸付金	107,000	107,000	0	0.0	2.0%
うち繰出金	669,013	346,023	△ 322,990	△ 48.3	6.5%
うちその他	199,201	0	△ 199,201	△ 100.0	0.0%
歳出合計	4,607,499	5,334,262	726,763	15.8	100.0%

人件費の内訳(地方財政状況調査15表より)

(単位:千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度	
					増減額	増減率%
1 議員報酬・手当	28,742	28,962	28,507	28,857	350	1.2
2 委員等報酬	26,092	28,097	29,443	121,732	92,289	313.4
3 村長、副村長、教育長 給与	24,359	26,157	26,158	26,063	△ 95	△ 0.4
4 職 員 給	478,138	461,065	472,334	466,562	△ 5,772	△ 1.2
5 共 済 組 合 負 担 金	108,347	109,127	110,198	111,502	1,304	1.2
6 退職手当組合負担金	73,228	69,164	67,481	66,809	△ 672	△ 1.0
7 公務災害補償基金負担金	639	677	671	651	△ 20	△ 3.0
8 そ の 他	0	0	0	15,554	15,554	皆増
合 計	739,545	723,249	734,792	837,730	102,938	14.0

※その他は、会計年度任用職員に係る社会保険料を計上。

物件費の内訳(地方財政状況調査89表より)

(単位:千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度	
					増減額	増減率%
1 賃 金	84,732	85,404	77,807	0	△ 77,807	皆減
2 旅 費	8,480	9,082	8,081	5,855	△ 2,226	△ 27.5
3 交 際 費	912	1,015	980	377	△ 603	△ 61.5
4 需 用 費	117,360	120,461	102,688	96,713	△ 5,975	△ 5.8
5 役 務 費	33,288	33,383	30,439	34,004	3,565	11.7
6 備 品 購 入 費	10,511	15,169	11,753	68,262	56,509	480.8
7 委 託 費	604,466	614,023	620,874	672,232	51,358	8.3
8 そ の 他	173,128	162,672	119,372	101,335	△ 18,037	△ 15.1
合 計	1,032,877	1,041,209	971,994	978,778	6,784	0.7

※R2年度から、会計年度任用職員制度が開始され、臨時雇用賃金は人件費として計上。

補助費等の状況(地方財政状況調査19表より)

(単位:千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度	
					増減額	増減率%
1 一部事務組合負担金	23,562	21,739	17,442	16,800	△ 642	△ 3.7
2 一部事務組合以外の負担金	65,666	86,217	82,919	87,702	4,783	5.8
3 補 助 交 付 金	301,818	265,044	256,682	1,174,773	918,091	357.7
4 そ の 他	39,543	52,858	44,100	36,843	△ 7,257	△ 16.5
合 計	430,589	425,858	401,143	1,316,118	914,975	228.1

普通建設事業等の状況(地方財政状況調査13表、21～23表より)

(単位:千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年度	
					増減額	増減率%
普 通 建 設 事 業	740,799	684,849	591,183	551,352	△ 39,831	△ 6.7
補 助 事 業	171,993	183,731	171,199	216,995	45,796	26.8
単 独 事 業	523,704	358,208	264,985	236,896	△ 28,089	△ 10.6
県 営 事 業・負 担 金	45,102	142,910	154,999	97,461	△ 57,538	△ 37.1
受 託 事 業 費	0	0	0	0	0	0.0
災 害 復 旧 事 業	0	4,350	1,122	6,403	5,281	470.7
補 助 事 業	0	0	0	3,630	3,630	0.0
単 独 事 業	0	4,350	1,122	2,773	1,651	147.1
合 計	740,799	689,199	592,305	557,755	△ 34,550	△ 5.8

4. 財務内容の分析

(1) 健全化判断比率

地方公共団体の財政の健全化に資することを目的に、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が平成19年6月に施行されました。これを受け、村では従来の実質公債費比率に加え、実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率の4つの比率を算定しました。いずれも、国が示す基準比率を下回っており、法律に基づく財政再生計画等を策定する状況にはありません。

①実質赤字比率

一般会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率。一般会計は黒字決算されており、該当ありません。

②連結実質赤字比率

一般会計のほか、すべての特別会計を含んだ実質赤字又は資金不足額の標準財政規模に対する比率。いずれの会計も黒字決算されており、該当ありません。

③実質公債費比率

村が負担する公債費の元利償還金等の標準財政規模に対する比率の3ヶ年平均。村の全会計のほか、一部事務組合等が起こした公債費の償還に充てたものも含めて算定したものです。

ここ数年の数値は安定していましたが、地方債残高及び元利償還金の増加により、単年度数値が3年連続で10ポイントを超えました。令和3年度が元利償還金のピークとなることから、今後も数値は高くなる見込みです。

なお、この比率は、平成18年度からの地方債協議制度移行に伴い、地方債の信用維持等の観点からも用いられています。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
単 年 度	8.1	9.6	10.2	10.0	11.3
3 か 年 平 均	8.4	8.5	9.3	9.9	10.5

18.0以上になると起債の許可が必要。25.0以上になると財政健全化計画の策定が必要。

35.0以上になると財政再生計画の策定が必要となる。

④将来負担比率

村が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率で、令和2年度は33.5%となりました。これは、村全会計の公債費残高と基金残高、債務負担行為に基づく将来負担などから算定したものです。一部事務組合等への公債費の将来負担のほか、全職員の退職手当等も加味されています。

なお、350%以上になると財政健全化計画の策定などが必要とされています。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
比 率	47.3	41.0	33.5

(2) 財政力指数

全国的にみて標準的な行政を行うための経費と、それを賄うために用意できる標準税率での収入の比較を財政力指数といいます。本村は県平均を下回っており、かなり低い状態にあります。

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	県平均(2年度)
単 年 度	0.240	0.251	0.243	0.241	0.500
3 か 年 平 均	0.234	0.243	0.245	0.245	0.502

(3) 経常収支比率

経常収支比率は、経常一般財源に占める経常経費に充てた一般財源の割合で、財政構造の弾力性を測る指数です。

令和2年度は前年度より1.4ポイント増加しています。これは会計年度任用職員制度への移行により、臨時雇用賃金(物件費計上)から人件費(経常)での計上になったことなどが主な要因です。

経常収支比率の推移

(単位:千円)

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
経 常 的 収 入 A	3,374,282	3,390,166	3,452,406	3,521,634
経 常 的 経 費 B	3,139,871	3,182,897	3,158,772	3,266,405
経 常 的 一 般 財 源 C	2,978,821	3,004,055	3,082,186	3,175,035
経常的経費に充てた一般財源 D	2,699,410	2,766,786	2,768,552	2,899,806
経常的一般財源の余剰 C - D	279,411	237,269	313,634	275,229
経常収支比率(%) D / C ()は、臨財債発行可能額を除いた数値	(90.6) 86.9	(92.1) 88.4	(89.8) 87.1	(91.3) 88.5
(参 考) 普 通 地 方 交 付 税	2,075,170	2,098,606	2,183,707	2,272,057
臨時財政対策債発行可能額	128,754	126,697	95,421	96,543
合 計	2,203,924	2,225,303	2,279,128	2,368,600

費目別経常収支比率の推移

(単位:%)

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
人 件 費	21.2	22.4	21.6	21.7	24.4
物 件 費	18.7	19.2	19.9	20.8	19.5
維 持 補 修 費	2.6	5.1	5.2	3.6	4.0
扶 助 費	3.1	3.1	3.3	3.5	2.6
補 助 費 等	5.6	5.8	6.2	5.6	12.3
公 債 費	17.0	16.8	16.6	16.6	16.9
繰 出 金	19.0	14.5	15.5	15.2	8.7
合 計	87.2	86.9	88.4	87.1	88.5

※費目(合計)ごとで比率を算出するため、合計が一致しない場合があります。